

2026年3月16日

各位

会社名 株式会社 エニグモ
代表者名 代表取締役 須田 将啓
最高経営責任者
(コード番号：3665 東証プライム市場)
問い合わせ先 取締役 金田 洋一
コーポレートオペレーション本部長
TEL. 050-1741-2223

通期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2025年9月12日に公表しました2026年1月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

通期連結業績予想の実績値との差異について

(1) 2026年1月期 通期連結業績予想と実績値との差異 (2025年2月1日～2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	(参考) 調整後 EPS
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
前回発表予想 (A)	6,505	30	2	387	9.76	19.39
実績値 (B)	6,295	46	43	326	8.23	17.79
増減額 (B-A)	△209	16	41	△60		
増減率 (%)	△3.2	53.5	1,954.8	△15.6		
(参考) 前期実績 2025年1月期	5,928	739	693	433	10.93	15.91

(2) 差異の理由

当社は、2025年9月12日開催の取締役会において、2028年1月期以降の継続的な中長期成長に向けた経営方針を新たに策定し、段階利益に拘ることなく現金創出力を高め、獲得したキャッシュを事業・人材資本への再投資、株主・社会へ還元するため、調整後 EPS (※) を企業価値向上のための最重要 KPI と位置付けております。

売上高につきましては、下半期にかけて一層のユーロ高が進行したことにより、主力事業である「BUYMA」においては厳しい消費環境が継続いたしました。この結果、予想を若干下回る結果となりました。

利益面につきましては、将来の収益力強化に向けた構造改革の一環として、AI 実装等を含む一時投資として約 170 百万円の投資を実行いたしました。一方で、既存事業におけるその他の費用管理を全社的に徹底したことにより、これらの構造改革費用を吸収した上で営業利益および経常利益につきましては、予想を上回る形で着地いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、財務体質の強化および資産の効率化を目的として、保有する投資有価証券の売却を実施いたしました。実際の売却額が市場動向の影響等により当初の想定を 1 億円ほど下回った結果、特別利益の計上額が減少したため、前回発表予想を若干下回る着地となりました。これはバランスシートのスリム化とキャッシュポジションの改善を目的とした資産入れ替えの一環であり、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みに変わりはありません。

以上